

常任委員会の審査報告

総務市民常任委員会

一般会計補正予算について

問 名目津温泉管理運営経費及び道の駅「さくらの郷」管理運営経費について、新型コロナウイルス感染症対策指定管理者支援金の積算方法は。

答 今年度の指定管理料を含めた収入見込額と、支出見込額の差額の90%を支援金としている。

問 防災設備維持管理経費について、財源内訳の変更の理由は。

答 財源とする市町村振興協会市町村交付金は、当初、海外派遣事業へ全額充当する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で市民の翼が中止となったところである。そこで、この交付金が災害対策及び災害の予防のための事業にも充てられるため、防災設備維持管理経費に充当することとしたものである。

意見 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用については万全を期すこと。

※交付金の第3次分の限度額は4億220万8千円となっており、今回の補正予算で2億4,201万5千円を充当する。現在まで既に予備費等で支出した分を除き、残り1億3千万円程度が令和3年度に活用可能である。



机上審査の様子

産業建設常任委員会

二本松市市道の構造の技術的基準に関する条例の一部を改正する条例制定等について

○二本松市市道の構造の技術的基準に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 自動運行補助施設とは何か。

答 自動運転車の運行を補助する施設で、道路下に磁気のマーカーや電磁誘導線、電子タグ等を埋め込むことで運行を補助するものである。

○市道路線の認定及び廃止について

問 市道路線の認定基準は。

答 基本的に幅4メートル以上で、原則として両側に側溝が設置されていること等の基準があるが、詳細については、二本松市市道路線認定基準として内規で定めている。

○令和2年度二本松市一般会計補正予算

問 ウディハウスとうわ管理運営経費の新型コロナウイルス感染症対策指定管理者支援金につい

て、指定管理料の金額は。また、年間の収支見込額は。

答 指定管理料は、税抜で1,374万5,400円である。その他の収入見込額906万9,249円を加えた収入見込みの総額は、合計2,281万4,649円である。また、支出見込額は2,600万円であり、年間収支見込みの差額は318万5,351円のマイナスである。



机上審査の様子

3月4日に付託された各議案は、3月15日に各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日18日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

文教福祉常任委員会

一般会計補正予算等について

○二本松市介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に関する入所定員に係る基準、指定地域密着型サービス事業者の指定の要件並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例等の一部を改正する条例制定について

問 ケアプランについて、市へ届け出されたものに対して、市がどう関わるのか。

答 訪問介護の頻度が多い事業所について、事業所単位で抽出したプランの点検をし、介護保険給付の適正化を図っていく。

○令和2年度二本松市一般会計補正予算

問 芝生広場整備事業について、継続費で令和3年度5,800万円ほど増加しているが、なぜ増加したのか。

答 工事の前払い金として事業費の50%を支払わなければならないため増額となった。令和4年度分については、事業費の50%の額となり減額されているため、継続費の総枠での変更はない。



机上審査の様子

予算審査特別委員会

議案などを専門的、合理的、能率的に審査する常設の常任委員会のほかに、特定事件を審査するために特別委員会を設置することができます。

3月定例会では、令和3年度各会計予算を審査するため、予算審査特別委員会を設置しました。

3月5日及び8日に、全体会で机上での総括審査を行った後、分科会に分かれ質疑・討議が行われました。

